



平成19年度に改修が行われる中央公民館大ホール



沼崎詔安議員

施設整備

中央公民館の早期改修

平成19年度に改修を予定

質問

- ① 昨年の外来船誘致の実績と今後の活動は。
- ② 柳沢北浜地区土地区画整理事業地内の保留地は完売したか。価格が高いのではないか。
- ③ 中央公民館大ホールを早急に改修すべきと思うかどうか。

沼崎町長

① 昨年の実績は、宮城県の本サンマ船1隻が約102ト。北海道の小型船1隻が延べ3回で約16トを水揚げした。  
 今後の誘致活動については、多くの誘致先を訪問する必要があること、問屋と市場担当者の面識も必要であることなどを協議会で提案していく。

町の考えを聞く

住民協働

地域づくりの指針は

補助金交付制度を制定

- ② 問い合わせが数件あった

また、県内の沖合底曳網漁船の船主に対して、引き続き水揚げ要請をする。  
 ③ 舞台吊り物や冷暖房施設、照明設備などの改修を予定しており、秋の町民芸術祭には間に合わせたいと考えている。  
 が、購入に至っていない。妥当な単価として販売したが、高いとの声もある。今後は区画の形状、面積の見直しなど工夫し販売を促進していく。

質問 住民と行政の協働による地域づくりの指針を示せ。

沼崎町長 新年度から住民と行政の協働による新しい地域活動を支援するため、昨年12月に住民協働推進計画策定委員会を設置し、支援事業の内容、方法、補助金などについて協議を重ね、住民協働推進支援事業補助金交付制度を制定することができた。

その概要は、自治会、コミュニティ推進協議会、自

主防災組織、NPOが実施する地域づくり事業に要する費用について補助金を交付し、補助率は、対象事業費の5分の4以内、限度額は1団体最高で年間35万円とするものである。  
 新年度予算としては、150万円計上している。支援事業の内容は▽地域づくり▽地域福祉▽環境衛生▽生涯学習・生涯スポーツ▽防災・安全▽産業振興▽その他住民協働に関すること——の7項目である。